

令和8年度 第2回 富塚中学校運営協議会

日時: 令和8年9月18日(金)14:00～15:00

会場: 富塚中学校 会議室

次 第

【司会: 教頭 青島 記録: CS ディレクター 岩邊】

開会

・開催要件(委員過半数の出席)の確認

- 1 会長挨拶(金原会長)
- 2 校長挨拶(松原校長)
- 3 議長の選出
- 4 前回会議録の確認
- 5 熟議 【議長: 】

テーマ「生徒の学びと成長を支えるために～学校・家庭・地域でできること～」

(1) 特色ある学校づくりについて【グループ協議】

- ・授業参観で感じた富中生の良さ・学びの様子
- ・さらに伸ばしたいところとそのために必要な支援
- A (◎伊澤、岩岡、金原、平出、池谷忠彦、山本)
- B (◎藤原、池谷定康、久保田、松本、田口、坂口)
- ◎: ファシリテーター

(2) 協議会取組目標に向けた支援の在り方について【全体協議】

- ① 地域との連携
- ② 情報発信の在り方

(3) 学校評価アンケート項目について(教務 岩岡)

6 報告

学校支援コーディネーターより

7 連絡事項

次回 令和8年11月19日(木) 14:30～15:00(TS 全校発表会)
15:00～16:00 会議室

閉会

令和8年度 第2回富塚中学校運営協議会 出席者名簿

■ 学校運営協議会委員

会長	金原 圭吾
副会長	松本 剛
委員	平出 謙介
委員	久保田 智彦
委員	池谷 定康
委員	池谷 忠彦
委員	田口 美貴子(学校支援コーディネーター)
委員	山本 由佳(学校支援コーディネーター)
委員	坂口 歩(学校支援コーディネーター)

■ オブザーバー

市議会議員	関 イチロー
富塚協働センター	上妻 大起

■ 学校職員

校長	松原 通恭
教頭	青島 真紀
教務主任	岩岡 正紘
生徒指導主事	伊澤 孝浩
CS担当教員	藤原 啓子
CSディレクター	岩邊 三幸

令和8年度 第1回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月13日（水） 14時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 2階会議室
- 3 出席委員 金原 圭吾、松本 剛、平出 謙介、久保田 智彦、池谷 忠彦、田口 美貴子、山本 由佳、坂口 歩
- 4 欠席委員 池谷 定康
- 5 オブザーバー 関 イチロー（市議会議員）、上妻 大起（富塚協働センター）
- 6 学 校 松原 通恭（校長）、青島 真紀（教頭）、岩岡 正紘（教務主任）、西村 脩平（2年主任）、加賀爪 さやか（ほたる主任）、伊澤 孝浩（生徒指導主事）、藤原 啓子（CS担当）、岩邊 三幸（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録制作者 CSディレクター 岩邊 三幸
- 9 副会長の指名

会長の金原委員から、松本委員を副会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 議長の選出

田口委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）本校のいじめ防止基本方針について
- （3）本校のコミュニティ・スクールの進め方について
- （4）職場体験について
- （5）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、グラウンドデザイン及び学校経営構想に基づき前回承認された学校運営基本方針について説明があり、委員との間で共通理解を図った。

（2）本校のいじめ防止基本方針について

議長の指示により、生徒指導主事から、別紙資料に基づき、本校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ 学校がいじめ対策について非常に積極的に取り組んでいることが分かった。アンケートも年5回実施しているとのことで、子供たちの意見も上がりやすいのではないかなと思う。現在、いじめが原

因で不登校になっている生徒はいるか。(久保田委員)

- ・ 本校ではいじめ事案はあるが、いじめを主な要因として不登校となっている生徒は現在いない。
(生徒指導主事)

(3) 本校のコミュニティ・スクールの進め方について

議長の指示により、藤原（CS担当）より、別紙資料に基づき、本校のコミュニティ・スクールの進め方について説明があった。

本校では、総合的な学習の時間「TS」を、コミュニティ・スクールと深く関わる教育活動として位置付けており、地域や人との関わりを通して主体的に学ぶ活動を大切にしていることについて共有された。

さらに、「TS×ボランティア」が本校の社会参画を育てる取組の一つとなっており、多くの生徒が主体的に地域活動へ参加していることについて説明があった。

これを受けて、委員からは以下の意見があった。

- ・ 富中生のボランティアに対する意識は高いと感じている。自分の子供も、資源物回収の際には持つて行くことを当たり前のこととして意識していた。そうした積み重ねが、高校生になってからも地域活動に参加しようとする意識につながっているのではないかと感じた。(田口委員)

(4) 職場体験について

2年主任及びほたるの学級主任より、別紙資料に基づき、2年生の職場体験について説明があり、受け入れ先（特に飲食、接客、保育等、人とのかかわる職種）について、引き続き地域への協力依頼があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ 昨年度は、中学3年生の保護者の中に現役の消防団員が7人いた。職場体験の趣旨とは異なる部分もあるかもしれないが、地域防災について学ぶ機会として、消防団の活動に触れることも良いのではないかと感じている。また、消防団としても、要望があれば可能な範囲で協力したい。(平出委員)
- ・ 飲食や保育など、人と関わる職種に携わっている方がいれば紹介していきたい。また、受入れ人数や職種、今後開拓していきたい分野等についても教えてもらえれば、協力していきたい。(田口委員)
- ・ これまでの職場体験先を見ると、販売や接客の職種が比較的多い。浜松の魅力の一つでもある「ものづくり」に関わる職場を体験することで、子供たちが地元の魅力を感じる機会になる。そうした受入先について、情報があれば協力をお願いしたい。(教頭)
- ・ 受入先を検討するにあたり、生徒が移動できる範囲について確認したい。ものづくりに関わる事業所となると、北部地域や繊維関係の事業所等も考えられるが、やや距離があるため、片道の移動時間等、受入れ先を検討する際のおおよその基準があれば教えていただきたい。(坂口委員)
- ・ 職場体験先によっては、交通費等の費用が発生する場合もあるので、保護者の理解や協力についても確認していきたい。(教頭)
- ・ 子どもが希望したものであれば、理解を示す保護者は多いと思うが、遠方であったり、費用面で差が出たりする場合には、配慮が必要になると思う。(坂口委員)

(5) 夢育やらまいか事業CS加算分の対する意見書

議長の指示により、教頭より、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業について説明があった。

子どもたちの夢や心の成長につながる取組に対して、予算が配当されていることや、地域人材を活用した活動等を進めていく予定であることが共有された。

13 報 告

学校支援コーディネーターより、学校支援活動について報告があり、4月16日に第1回打ち合わせを実施したこと、また、職場体験先の受け入れ先への連絡調整について、6月末頃から担当教員と連携しながら進めていく予定であることが共有された。

なお、オブザーバーの関氏から、9月から始まる部活動の地域展開について、学校運営協議会の中でも現状や仕組みについて共有し、地域としてどのように関わっていくかを話題にしていけるとよいのではないかと意見があった。

その他連絡事項

CSディレクターより、連絡事項として、第2回から第4回までの学校運営協議会開催予定について説明があった。なお、次回会議は令和8年9月18日（金）午後1時30分から授業参加をした後、午後2時から行う旨の報告があった。

以上をもって閉会した。

協議会取組目標に向けた支援の在り方について

— 昨年度の協議・自己評価を踏まえて —

1 今年度の取組目標

- 学校、家庭、地域が一体となって生徒の学びを支える協働体制を強化する。
- 学校運営協議会の活動内容の周知を図り、地域との連携を深める。
(学校・家庭・地域が連携し、富塚の地域性を生かした取組を通して、生徒が主体的に学び、安心して挑戦できる環境づくりを進めていく。あわせて、協議会の取組や生徒の活動が地域に伝わり、双方向のつながりが深まるような情報共有の在り方を検討していく。)

2 昨年度の協議・自己評価で確認されたこと

地域との連携・協働体制	情報発信
● 生徒の頑張りや成長を地域の方と共に感じ、見守っていく。 ● 地域の方と共に活動し、成果や評価を生徒へ返す協働体制を築く。	● 学校運営協議会の活動内容を、より積極的に周知する。 ● 協議会の役割や取組の意義が伝わるよう、発信内容・方法を工夫する。

3 今年度の主な取組

地域との連携・協働体制	情報発信
● T.S.活動やボランティア活動等を通じた、地域と生徒との交流 ● 地域の方々の協力による、生徒の学びを支える活動	● コミスクだより、学校ホームページ（ブログ）等による活動内容の発信 ● 生徒に活動を知ってもらうための校内掲示物の作成

4 今回、御意見をいただきたいこと

① 地域との連携	● 現在の活動をさらに充実させるために、どのような工夫や支援ができるか。 ● 地域と共に活動し、その成果や評価を生徒へ返すには、どのような方法が考えられるか。
② 情報発信の在り方	● 活動内容をより広く知ってもらうための工夫 ● 生徒・保護者・地域へ、何を、どのような方法で伝えていくとよいか。

御意見・アイデア

コミュニティ・スクールって何？

～学校・家庭・地域が力を合わせて、富中生の成長を支えています～

富塚中学校は
コミュニティ・スクール導入から **10年目**を迎えました！

コミュニティ・スクール（CS）とは

学校運営協議会を設置した学校のことです。
学校・家庭・地域が力を合わせて、
生徒の成長や未来を支える仕組みです。

学校

- ・教育活動の実施
- ・学校運営の基本方針
- ・生徒の学びや成長を支える

学校支援コーディネーターとは

- 学校と地域をつなぐ窓口です。
地域の人材や活動の情報を集め、
学校のニーズに合った支援につなげます。
- ・地域の方との連携・調整
 - ・授業支援講師の紹介
 - ・学校の活動をサポート 等

家庭

- ・子どもの生活や学習を支える
- ・学校との連携・協力
- ・地域活動への参加

富中生

一人ひとりの成長・未来

地域

- ・地域の人材や資源を活かす
- ・地域行事との連携
- ・見守りや支援活動

学校運営協議会とは

- 学校・家庭・地域の代表が集まり、
学校運営や生徒の育成について
話し合う場です。
- ・学校運営の基本方針の承認
 - ・教育活動や地域連携の充実に向けた意見
 - ・生徒や地域の課題解決に向けた協議

【学校運営協議会委員】

- ・PTA 会長
- ・保護者代表
- ・自治会長
- ・福祉協議会会長
- ・協働センター
- ・学校支援コーディネーター 等

地域に支えられるだけでなく、
富中生も地域を支える一員に。
「富中でよかった」と思える
学校・地域をみんなでつくろう！

富中で行っている主な活動の例

浜松まつり講座（1年）



地域の魅力や課題を学び、
ふるさとへの理解を深めます。

職場体験（2年）



地域の事業所で働く体験を通して、
将来を考えるきっかけにします。

社会参画講座（3年）



地域や社会の課題を知り、自分に
できることを考えます。

地域人材による授業・講座



地域の専門家の話を聞き、学び
を広げます。

フィールドワーク（3年）



地域社会の課題解決に参画し、
自分の生き方を見つめます。

ボランティア活動



地域のためにできることを考え、
自ら行動する力を育てます。

令和7年度学校評価アンケート＜生徒版＞集計結果

数値は%

質 問 項 目		学年	年度	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	グ ラ フ
とりくむ力	授業で「知りたい」「できるようになりたい」という気持ちになった。	全校	R6	39.5	50.4	7.7	2.4	
			R7	41.8	48.4	8.6	1.2	
	自分の考えが相手によく伝わるように発表・表現しようとしている。	全校	R6	33.0	46.6	17.4	3.0	
			R7	28.5	52.7	17.2	1.6	
	授業では仲間の意見を聞いて、理解を深めることができた。	全校	R6	39.9	50.0	8.4	1.7	
			R7	43.0	46.7	8.5	1.9	
	目標を達成するために計画的に実践することができた。	全校	R6	24.9	46.1	25.1	3.9	
			R7	21.5	49.8	25.9	2.8	
	家庭学習では、自分に必要な学習内容を考えて進めることができた。	全校	R6	23.9	48.7	21.2	6.2	
			R7	26.4	46.0	22.4	5.1	
みつめる力	自分の長所、得意なことを理解している。	全校	R6	38.6	38.0	16.5	6.9	
			R7	37.9	38.4	18.7	4.9	
	学級での自分の役割をよく理解している。	全校	R6	41.3	45.4	11.6	1.7	
			R7	38.4	42.6	17.2	1.9	
	係活動の仕事や清掃などを、自ら進んで行っている。	全校	R6	36.0	46.5	15.0	2.6	
			R7	37.3	41.3	19.2	2.1	
	部活動（校外活動含む）に意欲的に取り組み、仲間と切磋琢磨している。	全校	R6	60.8	27.9	6.9	4.3	
			R7	55.6	34.1	7.2	3.1	
	何事にも前向きな気持ちで取り組もうとしている。	全校	R6	33.2	49.7	14.3	2.8	
			R7	36.8	46.4	15.2	1.6	
つながる力	相手の立場に立ってコミュニケーションをとることができた。	全校	R6	32.3	50.5	13.7	3.4	
			R7	26.5	58.3	13.1	2.1	
	行事を通じて、仲間とともに活動する楽しさが実感できた。	全校	R6	61.4	30.9	5.4	2.4	
			R7	64.6	28.6	4.9	1.9	
	学校や学級では互いを思いやり、認め合って生活している。	全校	R6	40.9	49.7	7.5	1.9	
			R7	44.1	47.4	7.5	0.9	
	自分自身の悩みを相談できる相手がいる。	全校	R6	46.6	32.7	13.5	7.3	
			R7	45.8	33.3	14.4	6.6	
	困ったことがあった時、生活記録の日記（富中ブライド）や生活アンケートなどを活用し伝えていくことができる。	全校	R6	29.4	34.5	25.4	10.7	
			R7	32.8	37.5	23.0	6.8	
	学校は楽しく、安心できる場所である。	全校	R6	39.4	41.6	14.7	4.3	
			R7	43.7	40.4	12.9	3.1	
かなえる力	何事にも目標をもち、それを実現しようと努力できた。	全校	R6	31.1	51.6	15.4	1.9	
			R7	27.3	52.5	18.4	1.9	
	授業や行事を振り返ることで、自分自身の成長を実感できた。	全校	R6	35.6	50.1	11.1	3.2	
			R7	30.8	51.5	14.6	3.1	
	地域の行事や活動、ボランティア活動に積極的に参加した。	全校	R6	20.3	24.4	28.4	26.9	
			R7	15.8	20.9	32.7	30.6	
	学校で学ぶことが社会に出てからも役立つことが実感できた。	全校	R6	38.2	44.3	15.6	1.9	
			R7	36.1	48.5	13.8	1.6	
	自分の将来の姿を考えることができた。	全校	R6	28.9	36.8	24.2	10.1	
			R7	26.0	36.6	28.1	9.2	

令和7年度学校評価アンケート＜保護者版＞集計結果

数値は%

質 問 項 目		学年	年度	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	グ ラ フ
とりくむ力	学校は、子供が前向きに学習に取り組めるよう授業を工夫している。	全校	R6	27.9	61.4	10.2	0.5	
			R7	26.3	62.8	9.7	1.2	
	子供は、目標を達成するために計画的に実践している。	全校	R6	19.4	51.7	24.7	4.2	
			R7	21.4	48.9	25.1	4.6	
	子供は、家庭学習で自分に必要な内容を考えて進めている。	全校	R6	15.5	43.9	31.6	9.0	
			R7	17.0	40.4	32.8	9.7	
みつめる力	子供は、自分の長所・得意なことを理解している。	全校	R6	24.7	63.0	11.3	0.9	
			R7	25.8	61.8	11.7	0.7	
	子供は、部活動（校外活動も含む）に意欲的に取り組み、仲間と切磋琢磨している。	全校	R6	51.5	37.9	6.7	3.9	
			R7	50.9	37.7	7.3	4.1	
	子供は、何事にも前向きな気持ちで取り組もうとしている。	全校	R6	24.7	58.2	15.9	1.2	
			R7	23.1	59.9	15.1	1.9	
つながる力	子供は、相手の立場に立ってコミュニケーションをとっている。	全校	R6	32.6	55.2	11.8	0.5	
			R7	29.0	61.6	8.3	1.2	
	子供は、行事を通じて、仲間とともに活動する楽しさを実感している。	全校	R6	49.0	42.7	6.5	1.8	
			R7	49.9	44.3	4.4	1.5	
	子供にとって学校は楽しく、安心できる場所となっている。	全校	R6	37.2	53.8	6.0	3.0	
			R7	37.0	54.3	6.1	2.7	
かなえる力	子供は、何事にも目標をもち、それを実現しようと努力している。	全校	R6	19.9	54.0	22.6	3.5	
			R7	22.4	53.8	21.9	1.9	
	学校は、学ぶことの意義を十分に伝えようとしている。	全校	R6	25.2	61.7	12.2	0.9	
			R7	22.9	65.2	10.0	1.9	
	学校での様々な活動において、子供の成長を実感している。	全校	R6	43.0	50.1	6.2	0.7	
			R7	43.6	51.3	4.1	1.0	
コミュニケーション・スクール他	子供は、地域の行事や活動、ボランティアに積極的に参加した。	全校	R6	23.6	33.5	28.9	14.1	
			R7	24.1	32.4	29.7	13.9	
	学校便りやホームページ、ブログ等で情報をよく発信している。	全校	R6	24.2	60.7	14.1	0.9	
			R7	30.7	59.9	8.5	1.0	
	学校は、三者面談や教育相談が充実しており、相談しやすい。	全校	R6	23.3	62.4	13.4	0.9	
			R7	22.6	63.0	13.1	1.2	
	学校は、生活記録の日記や生活アンケートなどを活用し、子供の心の変化やいじめの早期発見や把握に努めている。	全校	R6	21.7	64.0	12.0	2.3	
			R7	23.4	61.8	12.4	2.4	
	学校は、子供の様子で気になる点が見られた際、迅速な対応に努めている。	全校	R6	23.6	61.7	13.2	1.6	
			R7	25.3	59.9	12.9	1.9	
	学校の活動から、目指す学校像、活動の意義を感じることができる。	全校	R6	23.1	67.7	8.3	0.9	
			R7	22.1	66.9	9.2	1.7	

令和7年度学校評価アンケート＜教職員版＞集計結果

数値は%

質 問 項 目		年度	そう思う	大体そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	グ ラ フ
と り く む か	授業で生徒の「知りたい」「できるようにになりたい」という気持ちを引き出す工夫をしている。	R6	24.0	68.0	8.0	0.0	
		R7	11.5	80.8	7.7	0.0	
	考えが相手によく伝わるように生徒の発表・表現の仕方を支援している。	R6	20.0	68.0	12.0	0.0	
		R7	19.2	69.2	11.5	0.0	
	授業でコミュニケーション活動を積極的に取り入れている。	R6	44.0	40.0	12.0	4.0	
		R7	34.6	50.0	15.4	0.0	
	生徒が立てた目標を達成するために計画的に実践できるよう支援している。	R6	16.7	62.5	16.7	4.2	
		R7	4.0	68.0	28.0	0.0	
	生徒が家庭学習で、自分に必要な学習内容を考えて進めることができるよう支援している。	R6	12.0	52.0	32.0	4.0	
		R7	12.0	60.0	28.0	0.0	
み つ め る か	生徒が自分の長所、得意なことを理解できるよう支援している。	R6	23.1	73.1	0.0	3.8	
		R7	23.1	65.4	11.5	0.0	
	生徒が学級での自分の役割をよく理解できるよう支援している。	R6	23.1	65.4	7.7	3.8	
		R7	16.0	80.0	4.0	0.0	
	生徒が係活動の仕事や清掃などを自ら進んで行うよう促している。	R6	30.8	50.0	15.4	3.8	
		R7	24.0	72.0	4.0	0.0	
	生徒が部活動に意欲的に取り組み、仲間と切磋琢磨できるよう支援している。	R6	46.2	53.8	0.0	0.0	
		R7	24.0	68.0	8.0	0.0	
	生徒が何事にも前向きな気持ちで取り組むことができるよう支援している。	R6	42.3	53.8	3.8	0.0	
		R7	36.0	60.0	4.0	0.0	
つ な が る か	生徒が相手の立場に立ってコミュニケーションが取れるように支援した。	R6	30.8	65.4	3.8	0.0	
		R7	24.0	60.0	16.0	0.0	
	行事を通じて、仲間とともに活動する楽しさが実感できるように支援した。	R6	50.0	46.2	0.0	3.8	
		R7	52.0	48.0	0.0	0.0	
	学校や学級では互いを思いやり、認め合って生活できるように支援している。	R6	53.8	42.3	0.0	3.8	
		R7	32.0	64.0	4.0	0.0	
	生徒は自分自身の悩みを相談できる相手がいると考える。	R6	19.2	65.4	15.4	0.0	
		R7	16.0	72.0	12.0	0.0	
	生徒が学校は楽しく、安心できる場所となるように支援している。	R6	38.5	53.8	3.8	3.8	
		R7	22.2	74.1	3.7	0.0	
か な え る か	生徒が何事にも目標をもてるよう支援している。	R6	26.9	65.4	7.7	0.0	
		R7	7.7	88.5	3.8	0.0	
	生徒が自己の成長を実感できるよう、授業や行事の振り返りを工夫している。	R6	26.9	57.7	11.5	3.8	
		R7	24.0	64.0	12.0	0.0	
	生徒が地域の行事や活動、ボランティア活動に積極的に参加できるよう支援している。	R6	15.4	61.5	19.2	3.8	
		R7	12.0	36.0	40.0	12.0	
	学校で学ぶことが社会に出てからも役立つことを生徒に語っている。	R6	53.8	42.3	0.0	3.8	
		R7	44.0	48.0	8.0	0.0	
	生徒が自分の将来の姿をイメージできるように支援している。	R6	38.5	50.0	7.7	3.8	
		R7	20.0	52.0	24.0	4.0	
コ ミュ ニ ティ ・ ス ク ー ル 他	家庭との相互理解のために電話連絡や家庭訪問を積極的に行っている。	R6	34.6	57.7	3.8	3.8	
		R7	36.0	52.0	4.0	8.0	
	学校は便りやホームページ、ブログ等で情報をよく発信している。	R6	23.1	57.7	15.4	3.8	
		R7	64.3	32.1	0.0	3.6	
	三者面談や教育相談で生徒や保護者に具体的なアドバイスをしている。	R6	26.9	65.4	3.8	3.8	
		R7	16.0	76.0	8.0	0.0	
	生活記録の日記や生活アンケートなどを活用し、子供の心の変化やいじめの早期発見に努めている。	R6	30.8	61.5	3.8	3.8	
		R7	40.0	56.0	0.0	4.0	
	子供の様子で気になる点が見られた際、迅速な対応に努めている。	R6	53.8	42.3	0.0	3.8	
		R7	57.7	42.3	0.0	0.0	
	様々な活動で目指す学校像、活動の意義を伝えるよう努めている。	R6	34.6	57.7	3.8	3.8	
		R7	30.8	61.5	7.7	0.0	